

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	検査機器学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期 月曜・金曜	教室名	1校舎801/802 実習室
担 当 教 員	永井康平、近藤雅史	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
顕微鏡の種類・構造原理を理解し、顕微鏡の使用ができるようにする。臨床検査に必要な機器特にピペット 分光光度計 pHメータ 遠心分離機などを中心にの原理使用方法を学び国家試験をや生理的意義を中心に講義する。データから測定原理と干渉物質の影響について理解できるようになる。						
《成績評価の方法と基準》						
顕微鏡:実技試験と筆記試験 検査機器:筆記試験						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
検査機器総論(臨床検査講座 医師薬出版)						
《授業外における学習方法》						
顕微鏡の操作は実際に何度も練習すること。分光光度計がしっかり使いこなせる事。						
《履修に当たっての留意点》						
顕微鏡の操作のしかたにより、標本の見え方が変わってくるので顕微鏡の原理、何故この操作をするかなど考えながら何度も練習してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義を通じての到達目標	顕微鏡の構造を理解し顕微鏡の操作の精度をあげきちんと操作できる		配布資料、臨床検査学講座 検査機器総論(赤本)	授業後に授業内容をしっかり復習する。	
	各コマにおける授業予定	顕微鏡の構造の説明、各設備の説明				
第2回	講義を通じての到達目標	顕微鏡を使って標本を観察できる		配布資料、臨床検査学講座 検査機器総論(赤本)	授業後に授業内容をしっかり復習する。	
	各コマにおける授業予定	尿標本の観察、顕微鏡の操作確認				
第3回	講義を通じての到達目標	実技試験を通じて顕微鏡で観察できるようになる		配布資料、臨床検査学講座 検査機器総論(赤本)	授業後に授業内容をしっかり復習する。	
	各コマにおける授業予定	顕微鏡の実技テスト				
第4回	講義を通じての到達目標	その他の顕微鏡の使用方法を説明できるようになる		配布資料、臨床検査学講座 検査機器総論(赤本)	授業後に授業内容をしっかり復習する。	
	各コマにおける授業予定	電子顕微鏡・位相差顕微鏡・偏向顕微鏡などの構造				
第5回	講義を通じての到達目標	分光光度計の原理について説明できるようになる		テキスト プリント	授業後に授業内容をしっかり復習する。	
	各コマにおける授業予定	検査機器(分光光度計)原理と構造				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	分光光度計の原理について説明できるようになる	テキスト プリント	授業後に授業内容を しっかり復習する。
		各コマにおける授業予定	検査機器(分光光度計)原理と構造2		
第7回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	分光光度計の操作ができるようになる	テキスト プリント	授業後に授業内容を しっかり復習する。
		各コマにおける授業予定	検査機器(分光光度計)実習		
第8回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	分光光度計の操作について説明できるようになる	テキスト プリント	授業後に授業内容を しっかり復習する。
		各コマにおける授業予定	検査機器(分光光度計)実習2		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	遠心分離機の操作について説明できるようになる	テキスト プリント	授業後に授業内容を しっかり復習する。
		各コマにおける授業予定	検査機器(pH 遠心分離機)原理と構造		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	遠心分離機の操作について説明できるようになる	テキスト プリント	授業後に授業内容を しっかり復習する。
		各コマにおける授業予定	検査機器(pH 遠心分離機)原理と構造2		
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			